

事業名称		達成状況の評価
事業名	県営農村地域防災減災事業	A
整理番号	28-3	目標を完全に達成した。(達成割合100%)
事業の種類	ため池の改修	
市町村名	上田市	
箇所名	(室賀地区)上田市上室賀	
事業年度	平成28年度～令和2年度	
		配慮した項目 28 = 100%
		配慮する全項目 28
事業概要		
目的	耐震性を有していないため池の耐震補強を行い、災害の未然防止による地域の防災安全度の向上と農業生産の維持及び農業経営の安定を図る。	
事業概要	ため池改修工 N=1箇所(大沢池)	
関連する事業計画	特になし	
その他特記事項	特になし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	なし	
その他		
自然的環境要素	環境配慮の方針	環境配慮の実施内容 (環境配慮の方針と異なる場合はその理由)
大気環境	【大気汚染の防止】	
	・排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	適正に実施
	・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。	適正に実施
	【騒音、振動の防止】	
	・低騒音・低振動型の建設機械を採用する。	適正に実施
	・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。	適正に実施
水環境	【水質汚濁の防止】	
	・水道水源、貴重な動植物分布地、取水地点及びすでに汚染が著しい地域等への排水を出来るだけ避ける。	適正に実施
	・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。	適正に実施
	【水循環の保全】	
	・水田や地下水・湧水を保全する。	適正に実施
地形・地質	【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】	
	・地域の特性を形成する重要な地形・地質の改変を出来るだけ避ける。	適正に実施
	【改変面積の最小化】	
	・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。	適正に実施
	・工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。	適正に実施
	・工事により一時的に改変する自然環境の原形復旧に努める。	適正に実施
野生動植物	【動物の繁殖期における影響の低減】	
	・重要な動物等の繁殖期、産卵期の工事を出来るだけ避ける。	適正に実施
	【動物への負担の少ない形状・素材の使用】	
	・自然石、自然素材又は多自然型製品等動植物への負荷の少ない素材を使用する。	適正に実施
	【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
	・自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変を出来るだけ避ける。	適正に実施
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	・回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な植物を生育適地へ移植する又は生育地を創出し移植する。	適正に実施
	・回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な動物を生息適地へ移動させる又は生息環境を創出し移動を促す。	適正に実施
	【動物の繁殖期における影響の低減】	
【動物への負担の少ない形状・素材の使用】		
景観	【すぐれた景観の保全】	
	・主要な景観資源の改変を出来るだけ避け、影響を及ぼすおそれがある場合は修景に努める。	適正に実施
	【良好な景観の育成】	
	・樹木の伐採は出来るだけ避ける又は植樹等による緑化に努める。	適正に実施

廃棄物・ 建設残土	<b>【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】</b>	
	・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。	適正に実施
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	適正に実施
	<b>【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】</b>	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	適正に実施
	<b>【資源の有効利用】</b>	
	・再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。	適正に実施
	・自然石、県産木材等環境に負荷の少ない資材の使用に努める。	適正に実施
	・信州リサイクル認定製品の利用を推進する。	適正に実施
省資源・ 省エネルギー・ 温室効果ガス	<b>【環境への負荷の少ない機械の利用等】</b>	
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	適正に実施
	・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	適正に実施
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	適正に実施